

分科会2テーマ 地域との連携による学校運営の充実

協働型学校評価の取組

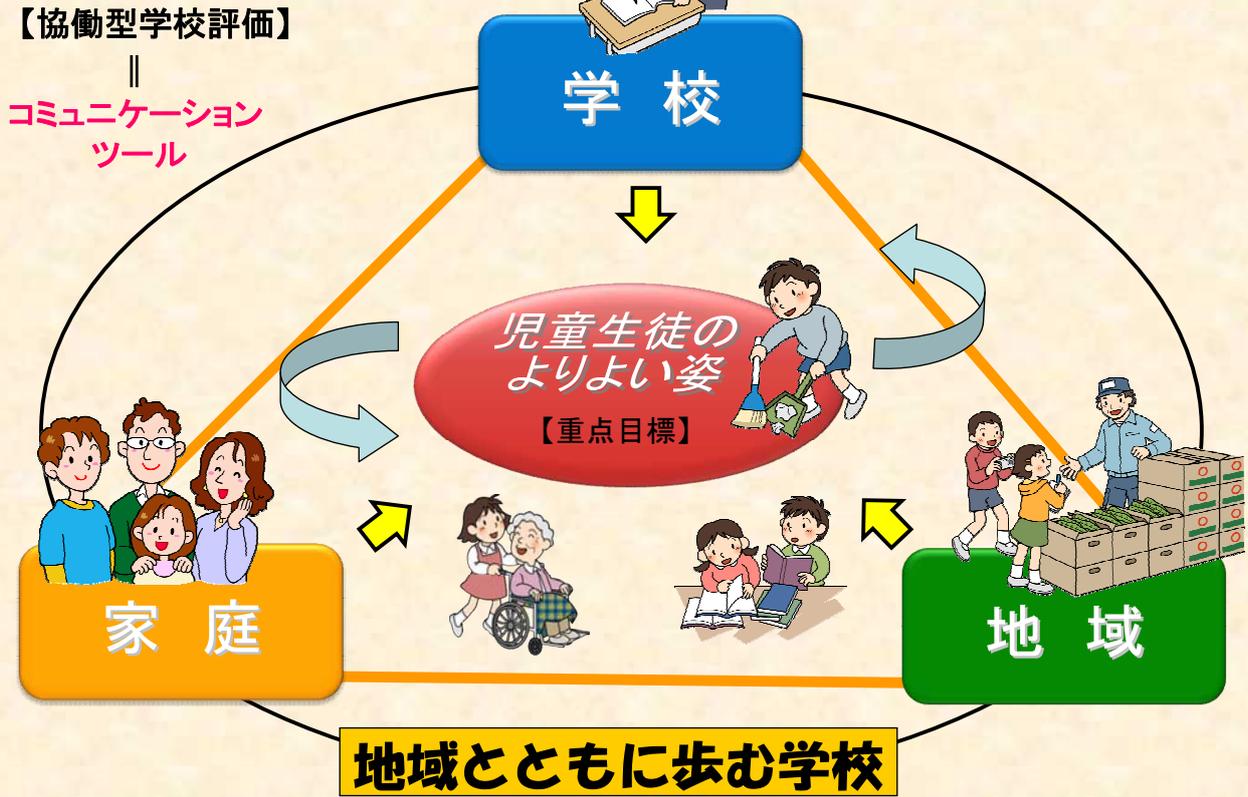


仙台市教育局学校教育部 教育指導課

地域とともに歩む学校



協働型学校評価の特徴



学校評価の変遷

- ◆ 平成19年 学校教育法・同法施行規則の改正
- 平成20年度 仙台市学校評価ガイドライン

『全方位型の学校評価』

→全82の点検項目
(一定の成果)

学校運営の一層の改善
児童生徒のよりよい姿の実現

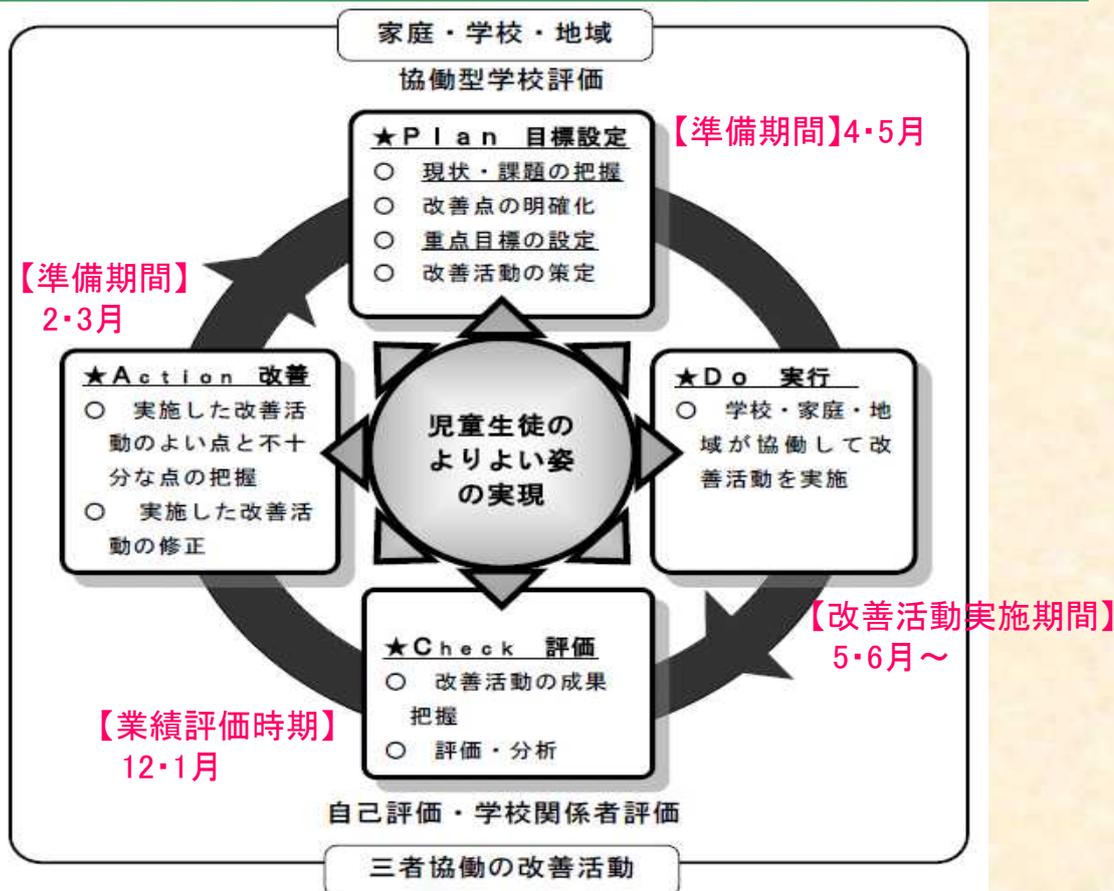
評価項目	下位評価項目 【仙台市の枠組】	評価指標
1 教育課程・学習指導	1-1 指導目標、指導計画、授業時数等の教育課程の編成・実施状況	① 児童生徒や保護者、地域の実態を踏まえ、学校としての教育目標が設定されているか。 ② 教育目標は学年・学級の目標、諸計画に具体化され、実践されているか。 ③ 教科等の必要時数は確保されたか。
	1-2 児童生徒の観点別学習状況の評価を踏まえた取組状況	① 教科等について、観点別学習状況の評価規準を作成し、評価しているか。 ② 観点別学習状況の評価結果について検討し、学習指導の工夫・改善を図っているか。
	1-3 学力調査、運動や体力に関する調査結果を踏まえ	① 学力調査の結果を踏まえ、教科等において学力向上のための工夫・改善を図っている

- 平成22年度 仙台市学校評価ガイドライン

『協働型学校評価』

→学校・家庭・地域の三者協働による学校評価

年間のP-D-C-Aサイクル



学校関係者評価委員の構成



学校・家庭	<p>○近隣校の校長・教頭・教務・生徒指導主事，○学識経験者・大学教員，○近隣幼稚園・保育所職員，○保護者，○PTA会長・本部役員(現・元)，○近隣校PTA役員，○同窓会長，○当該校の元校長，○おやじの会代表，○学校医・薬剤師，○校歌作曲者</p>
地域	<p>○町内会長，○体育振興会長，○子供会育成会長，○学校支援地域本部コーディネーター，○交通安全協会，○スポーツ少年団部長，○読み聞かせボランティア，○学校防犯ボランティア巡視員，○商店主，○JA支店長，○商店街振興組合理事長，○校区青少年健全育成協議会会長</p>
関係機関	<p>○市民センター長，○児童館長，○民生児童委員，○保護司，○人権擁護委員，○交番署長，○社会福祉協議会職員，○NPO代表</p>

■ 1 『児童生徒の現状と課題の把握』

- ・今学校が抱える子供たちの課題は？
- ・どんな子供の姿を目指すか？
- ・優先順位は？

前年度の自己評価・外部アンケート
前年度の学校関係者評価結果

教職員による情報交換・話し合い

課題の顕在化・共有化

■ 2 『三者による児童生徒の現状と課題の共有』

教職員の話合いから出た課題・思い

児童生徒の現状
各種調査結果等

学校関係者評価委員会

重点目標
三者の改善活動の決定

三者の改善活動

【重点目標】

『進んで読書に親しむ児童の育成』

(学校)

- ・読書指導の充実
- ・図書室, 学級文庫の整備

(家庭)

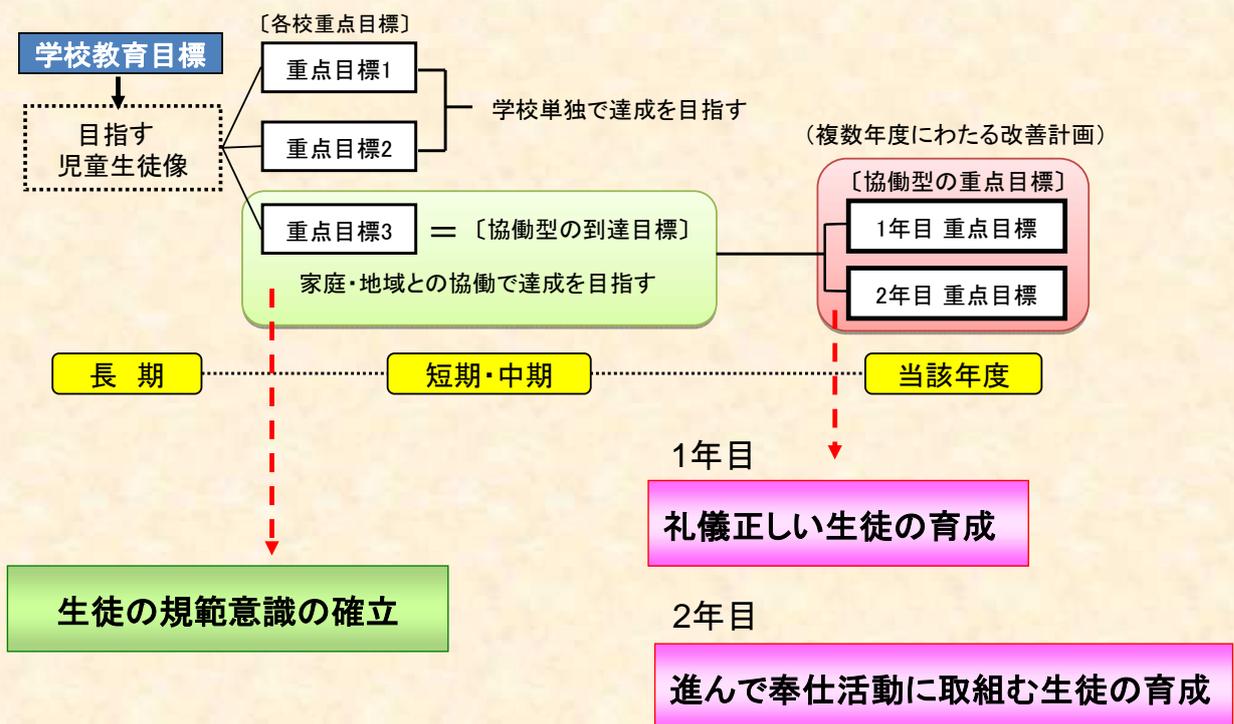
- ・親子での読書の時間

(地域)

- ・読み聞かせボランティア活動の充実

「単年度での達成」

目標の関連



	到達目標(短期・中期)	当該年度の重点目標
小	◎学校・家庭における基本的な学習習慣の形成	○毎日家庭学習に取り組む子ども
小	◎考える子ども, やさしい子ども, きたえる子ども	○約束を守る子ども ○掃除・片付けの上手な子ども
中	◎基本的な生活習慣の確立 ◎確かな学力の向上	○時間を守っている生徒の割合を全体の90%以上にする ○好きな授業があるという生徒の割合を全体の90%以上にする
中	◎人とのつながりを大切にし, 積極的にコミュニケーションを図る	○学校や地域で進んで挨拶をする ○学校や地域の行事に積極的に参加する
中	◎基礎的な学力を身に付け, 意欲的に表現できる生徒	○自ら進んで取り組む学習習慣を身に付けた生徒の育成

各校の特色ある取組 (H23実施状況調査から)

教職員間の共有

- ・KJ法やワークショップによる課題の共有化
- ・職員会議での進捗状況の報告・協議
- ・目標達成までの活動を図式化, 掲示
- ・定期的に成果と課題を確認
- ・定期的に意識調査を実施, 現状把握
- ・協働型学校評価アクションプランの作成
- ・グランドデザイン中間発表会を全職員で実施
- ・全教員が学校関係者評価委員会に参加



各校の特色ある取組 (H23実施状況調査から)

意識の持続, 組織力向上



- ・「教育活動改善シート」, 「学級経営案」の有効活用
- ・管理職との面談, 日常的な話題の一つに
- ・校内の各部会で進捗状況を検討, 職員会議で報告, 提案
- ・よい実践を認め励まし, 他の教職員に広げる
- ・学級経営案に個々の取組や成果と課題を記録
- ・校内プロジェクトチームを組織し, 具体的な活動案を提案
- ・通信票に関連項目を設け, 指導内容や児童の変容を記載

各校の特色ある取組 (H23実施状況調査から)

家庭・地域との連携強化



- ・学校だより, Web等で継続的な広報・情報発信
- ・「我が家の重点目標設定」, 「家族で取り組む振り返りカード」など, 家庭のフィードバックを受ける仕組みを工夫
- ・地域懇談会での重点目標のPR
- ・地域行事への職員の積極的参加, 地域合同の行事を企画
- ・校区PTA連絡会で学習会を開催
- ・月1回以上の授業参観日を設定, 日常的に現状を見てもらう

学校関係者評価委員会の充実



- ・委員と児童生徒が接する機会を増やす
- ・朝会で、評価委員の方から子どもたちへ直接話をいただく
- ・毎回話合いのテーマを明確化
- ・職員会議や年度末反省会にオブザーバーとして参加いただく
- ・生徒会活動の様子を生徒自ら直接伝える時間を設定
- ・様々な立場から意見をもらうよう、委員の人数や構成を検討

その他

- ・方向性や取組を構造化し印刷物として玄関前に掲示
- ・学校支援地域本部事業と関連させ、保護者、地域の協力を積極的に要請
- ・新入学児童保護者会において、教頭が協働型学校評価について講話
- ・中学校区で共通の重点目標を設定、校区全体で取り組む
- ・「SQS学校評価システム」を活用、集計時間の大幅な短縮

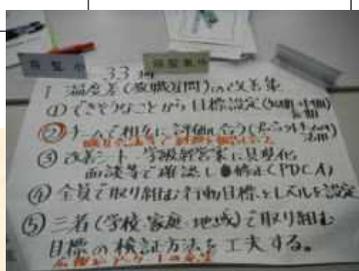
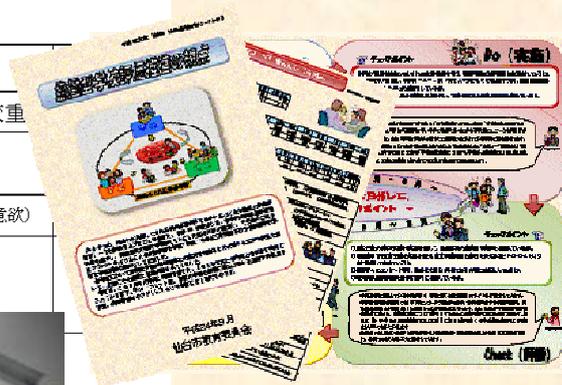


- 教育課程ヒアリング
- 教育課程訪問
- 教育活動改善シート・学校経営要録の様式見直し
- 研修会の実施
- リーフレット配布



教育活動改善シート

勤務歴	現任教	年	校務分掌
	通算	年	
型学校評価の重点目標		学校重	
ための手立て		自己評価（過程・実績・意欲）	



各校の現状 (H23実施状況調査から)

